

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	農林道環境整備事業			事業コード	1640
担当課等	所属名	農林部 林政課	担当係名		
	課長名	農林部 林政課	担当者名	沓澤 功	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 2項 2目 農林道環境整備事業(018-05)	
	特記事項					
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度					
事務事業の概要	農林道の快適かつ安全な通行状況を確保することや降雨災害等を未然に防ぐ等を目的にした維持管理事業					
根拠法令等	-					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
降雨被害等による農林道の補修の必要性があり、雇用対策のため雇用創出事業として県補助事業で採択されたことによる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民等から当該事業に関する直接的な意見はないが、林道の維持管理面については施設補修、路側の刈払いや側溝浚渫等の要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
県の雇用創出事業が終了したことから市の一般財源により実施していたが、平成22年度で雇用対策としての予算措置は終了し、23年度からは林道管理事業に組み込まれている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	林道の維持管理延長、新規雇用者数	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 維持管理延長	単位	km
				B. 新規雇用者数	単位	人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 側溝清掃、除草、路盤敷き均し等 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 側溝清掃、除草、路盤敷き均し等	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 維持管理延長	単位	km
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	林道を良好な状況に保ち降雨等による災害の防止に効果を発揮する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 維持管理延長	単位	km
				【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	
				B.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha)	単位	
				畑地面積(単位:ha)	単位	
				樹園地面積(単位:ha)	単位	
				民有林面積(単位:ha)	単位	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	維持管理延長	km	170	170	170	170	-	-	年度
対象 指標B	新規雇用者数	人	3	5	4	5	-	-	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	維持管理延長	km	170	170	170	170	-	-	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	維持管理延長	km	170	170	170	170	-	-	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	3,320	3,328	3,100	3,090	0	0	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	3,320	3,328	3,100	3,090	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	3,320	3,328	3,100	3,090	0	0	*****
	延べ業務時間数	時間	129	100	100	100	0	0	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	516	400	400	400	0	0	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	3,836	3,728	3,500	3,490	0	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 新規雇用の創出に資するとともに良好な農林道の環境整備を実施することにより農林基盤の整備がなされる。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 広く市民が通行する公共道路であり妥当である。
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 全路線のうち必要な箇所を実施することによりコスト面でも妥当である。
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 災害を未然に防ぐ効果があり妥当である。
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 限られた雇用人数であり成果は限定される。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 農林道の維持管理に支障をきたす。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 市有林等環境整備事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 市有林等環境整備事業は国庫補助事業であり、新規雇用者の雇用条件等が異なることから統合は難しい。
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 人件費が多くを占めており削減できない。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 発注業務、業務中の状況調査、完了確認等事業実施に係る最低限度のものであり、削減の余地はない。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 広く市民が通行する公共道路の環境整備であり、公平である。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 広く市民が通行する公共道路の環境整備であり、費用負担を求めるのは適当でない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 林道の維持管理上この事業の果たす役割は大きく、継続して実施することが必要である。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 平成22年度まで雇用対策事業として継続してきたが、23年度からは林道管理事業に組み込まれた。新規雇用はなくなったが当該事業費は減少したため、実施箇所の更なる精査が必要である。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点) 林道の維持管理上、有効な事業である。</p>		
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容 23年度から新規雇用に限定しなくなったので、効率的な事業になるよう検討すること。</p>		<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			